

報 告 書

大工研報第 **1616** 号

依 頼 者	所 在 地 または住所	大阪市北区中之島2-3-18
	企 業 名 または氏名	王子通商株式会社 様
提 出 試 料 名	サルツチュウ加工原液、サルツチュウ加工用ニス	
依 頼 事 項	抗菌力	

平成 16 年 11 月 30 日付第 161188 号で依頼のあった件について、提出試料の
試験・分析・測定・研究 結果を次のとおり報告します。

結果)

試験菌名	培地の希釈	試 料 名	測 定	生菌数(個/ml)*
サルモネラ菌	500倍	サルツチュウ加工原液 サルツチュウ加工用ニス	接種24時間後	3.0×10 ³ 以下
			接種24時間後	3.0×10 ³ 以下
		対照	接種直後	6.5×10 ⁵
		対照	接種24時間後	9.1×10 ⁶

試料) 依頼者より提出された紙を0.4gとなるように切断した。この紙を依頼者より提出された液状の試料に浸漬し、室温で1時間風乾後、容量30mlのガラス製容器に入るように切断し、試験用の検体とした。

方法) 普通ブイヨン培地(0.3%肉エキス, 1%ペプトン, 0.5%食塩:栄研化学(株))を0.85%食塩を含む無菌水で500倍に希釈した。そこへ普通ブイヨン培地で培養したサルモネラ菌(*Salmonella enteritidis* IFO3313)を懸濁した。この菌懸濁液(0.2ml)を容量30mlのガラス製容器に入れた検体に接種した。この容器を密閉して30℃に静置した。接種直後および24時間後に9.8mlの0.85%食塩を含む無菌水を加え、10倍ずつ4段階希釈を行った。これら菌懸濁液0.5ml中の生菌数を測定した。対照として、依頼者より提出された紙に菌懸濁液を接種し同様の操作を行った。生菌数の測定は衛生試験法・注解(2000) 1.2.1.1細菌一般試験法 3) 菌数測定 (1) 混釈平板培養法(p.51)に準じて行った。ただし、微生物の培養には普通寒天培地(日水製薬(株))を用い、37℃で24時間培養した。

*試料に接種した菌懸濁液中の生菌数濃度に換算した。

以上

平成16 年12 月13 日

大阪市立工業研究所長

島 田 裕 司

